

1グループ



わかものへの
防災啓発・
地域防災

目次

- ① 現状とその課題
- ② 提案内容（他地域での事例・イベント）
- ③ 予算等
- ④ まとめ

定義

- 「わかもの」

→今回は「高校生」をターゲット

- 「防災」

→高校生の「自然災害」への「防災意識」を
高めることを目的

現状

- ・ 高校生に対する防災教育の少なさ

(例：小中学校では「なごやっ子防災ノート」を活用した防災授業を実施)

- ・ 高校生の地域防災への参加率が低い

学区レベルでの防災訓練が行われているが、新規参加へのハードルが高い

→ 高校生に防災への興味を持ってもらうことが急務

課題

① 災害に触れる
機会が少ない

② 高校生の
防災教育の遅れ

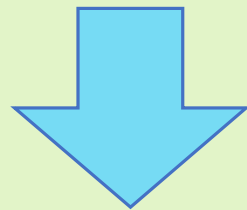
防災への
関心の無さ

他地方における事例

高知県黒潮町 大方高校



生徒たちが独自の避難所運営ゲーム「HUG」を作成



千種区の高校でも「HUG」が行えるイベント企画を実施

単年度にとどまらず、継続的な実施を想定

Hinanjo (避難所) Unei (運営) Game (ゲーム)



避難所運営を疑似体験するカードゲーム

イベント開催の目的

- ・ 高校生に"楽しみながら"防災意識を高めてもらう
- ・ 1年生の春に開催することで、親睦を深めてもらう
- ・ 災害発生時、避難所運営に携わることのできる人材を増やす

防災に興味を持ってもらう「0から1へ」の企画

イベントタイムライン(仮)

イベント開始

16:00 自己紹介・交流

16:20 HUGの説明・解説

16:30 HUG開始（6～7人ごとに8グループ程度を想定）

17:30 HUG終了・調理開始

調理内容：サバメシ（名古屋市西区）

HUGのグループごとに調理

18:00 夕食

18:30 片付け・イベント終了

参加人数 50人
6～7人×8グループ

調理体験



サバ飯（サバイバル飯）

2グループ分

・ クリームスパゲティ

1
人
分

- ▶ スパゲティ 80 g
- ▶ 牛乳 250 ml
- ▶ ランチョンミート 30 g
- ▶ 冷凍グリーンピース 20 g
- ▶ 玉ねぎ 20 g
- ▶ 塩 小さじ 1/2
- ▶ コショウ 適量
- ▶ 粉チーズ 小さじ 1

1人当たり
約255円 × 6人分 × 2グループ分

¥ 3,100

サバ飯（サバイバル飯）

2グループ分

・ トマトのスープ

- ▶ トマト缶 50 g
- ▶ 卵 1個
- ▶ ジャガイモ 75 g
- ▶ 水 1杯と3/4
- ▶ コンソメ 小さじ2

2
人
分

2人当たり
約260円 × 3セット分 × 2グループ分

¥ 1,600

サバ飯（サバイバル飯）

2グループ分

・ スープカレー

2
人
分

- ▶ レトルトカレー 1袋
- ▶ 水 コップ2/3
- ▶ コンソメ 小さじ1/2
- ▶ あさりの水煮缶 1缶

2人当たり
約1,000円 × 3セット分 × 2グループ分

¥ 6,000

サバ飯（サバイバル飯）

1 グループ分

・ クラフトコーラ

- ▶ カルダモン 8粒
- ▶ シナモンスティック 2本
- ▶ 黒こしょう 20粒
- ▶ グローブ 8粒
- ▶ スターアニス 2個
- ▶ ジンジャーパウダー 小さじ2
- ▶ レモン 1個
- ▶ 水 200ml
- ▶ 砂糖 200g
- ▶ 炭酸水 適量

1
人
分

1人当たり 約760円 × 6人分

¥ 4,600

サバ飯（サバイバル飯）

1 グループ分

・ フルーツ寒天

- ▶ フルーツミックス缶 1 缶
- ▶ 粉寒天 2 g
- ▶ 水 80 g

4 人当たり
約 250 円 × 1.5 セット分

¥ 400

5 品合計 ¥ 15,700

4
人
分

予算

16:00~17:30 (自己紹介~HUG実施まで)

- ▶ HUG (カードゲーム) = ￥0
- ▶ マジックペン = ￥0
- ▶ 体育館を借りる費用 (マイク等含) = ￥0
- ▶ HUGを行う前の広告費用 (紙媒体) @ 5 × 10 枚 = ￥50
- ▶ 必要に応じて付箋紙 @ 110 × 8 = ￥880
- ▶ 画用紙 = ￥800
- ▶ 名札 @ 30 × 105 枚 (5枚は予備) = ￥3,150



17 : 30 ~ 18 : 30 (調理体験～まとめ・片付けまで)

- ▶ 長机2台×8グループ分 = ￥0
- ▶ 椅子6脚(7脚)×8グループ分 = ￥0
- ▶ 食材費 5品合計 = ￥15,700
- ▶ 紙皿 @110×10(2つ予備) = ￥1,110
- ▶ 調理用具・食器類 @1,000×8グループ = ￥8,000
- ▶ ゴミ袋(名古屋市指定袋(可燃)) = ￥430
- ▶ (名古屋市指定袋(不燃)) = ￥430
- ▶ (名古屋市指令袋(資源)) = ￥430
- ▶ 紙コップ @110×4 = ￥440
- ▶ 洗剤・スポンジ @220×4セット = ￥880
- ▶ 洗剤・スポンジ @220×4セット = ￥880
- ▶ ガスボンベ 12個 ￥1,600



予算

総額 = ¥ 34,780

およそ ¥ 35,000 あれば良い

参加費 = 1人500円

@500 × 100人 = ¥50,000



余ったお金は
協力してくれた
学校に対する防災
費として充てても
らう。

イベント後の展望

対象：高校1年生

→来年以降は生徒主体で開催してもらう

防災意識の継承・交流機会の増加

参考サイト

- ・ 高校生が作る 地区防災計画

https://bosaijapan.jp/app/uploads/2024/02/2018_06_seika.pdf

- ・ 避難所運営ゲーム（HUG）について（静岡県ホームページ）

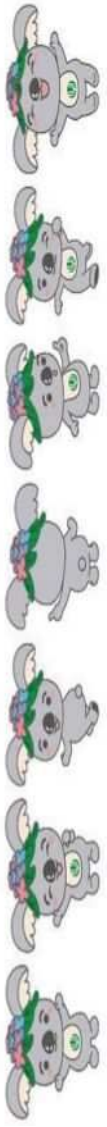
<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1030041.html>

- ・ サバメシについて（西区）（名古屋市ホームページ）

<https://www.city.nagoya.jp/nishi/page/0000101954.html>

- ・ クラフトコーラについて

<https://kirakucola.com/blogs/blog/20250619>



ご清聴ありがとうございました!



千種区名所の魅力発信

2 班

今西 伸成 折戸 遥香 白川 琴望
舟橋 拓未 国正 葵

もくじ

① 課題と理由

② 提案

③ 掲載店舗の想定

④ 事例

⑤ +α もっと周知してもらう為にやりたいこと



課題と理由

課題

- 認知度が低い
- 若者の参加度が低い

理由

- 具体的な内容を知る機会がない
- 「一回いったからいいやー」
- 公式のエンタメ要素が少ない
 - ➡参加意欲に繋がらない
- SNSに流れてくる情報が少ない

「あなたの知らない ちくさCafeMAP」



ポイント！

知らなかった！

公共施設の映えカフェスポット



提案(概要)

対象

高校生・大学生

媒体

紙 (A42つ折り)とデジタル

配布場所

駅や学校内



掲載店舗の想定

ファミリーレストランどうぶつカフェ(東山動物園)



動物カフェ公式Instagram

掲載店舗の想定

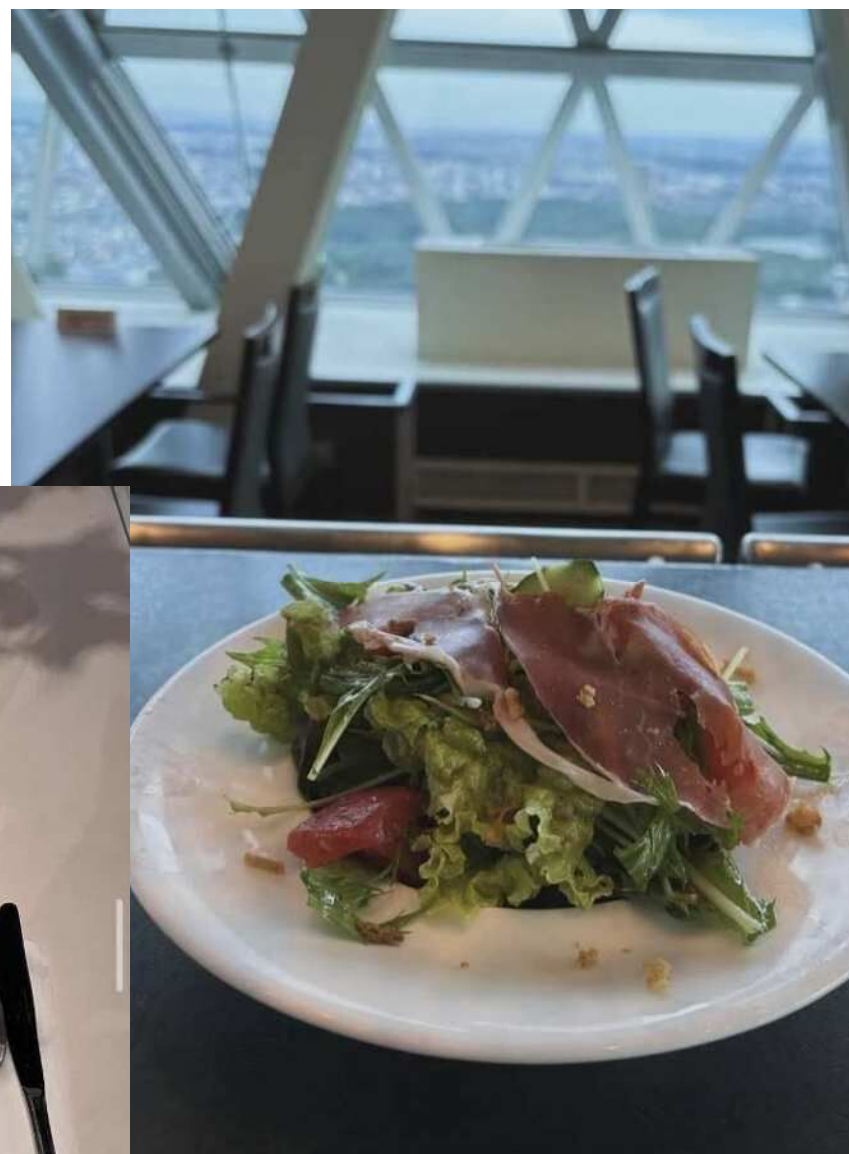
ガーデンテラス東山(東山植物園)



[ガーデンテラス東山公式HP](#)

掲載店舗の想定

MOET & DININGスカイタワー店 (東山スカイタワー)



MOET & DININGスカイタワー店公式Instagram

掲載店舗の想定

数寄屋 de Café(古川美術館)



SHACHI me nagoya



古川美術館公式HP

掲載店舗の想定

聴松閣喫茶室(揚輝荘)



ナゴレコ



名古屋コンシェルジュ

事例①広報なごや「ひんやりスイーツ特集」



引用：名古屋市 広報なごや 令和7年8月号

事例②長久手市「ぐるっと長久手プチトリップマップ」



引用：一般社団法人 長久手市観光協会

+a もっと周知してもらうためにやりたい事！

・千種区フォトコンテスト
との融合

・コンテストで募集した写真
をMAPに使用

・区民の参加を促す

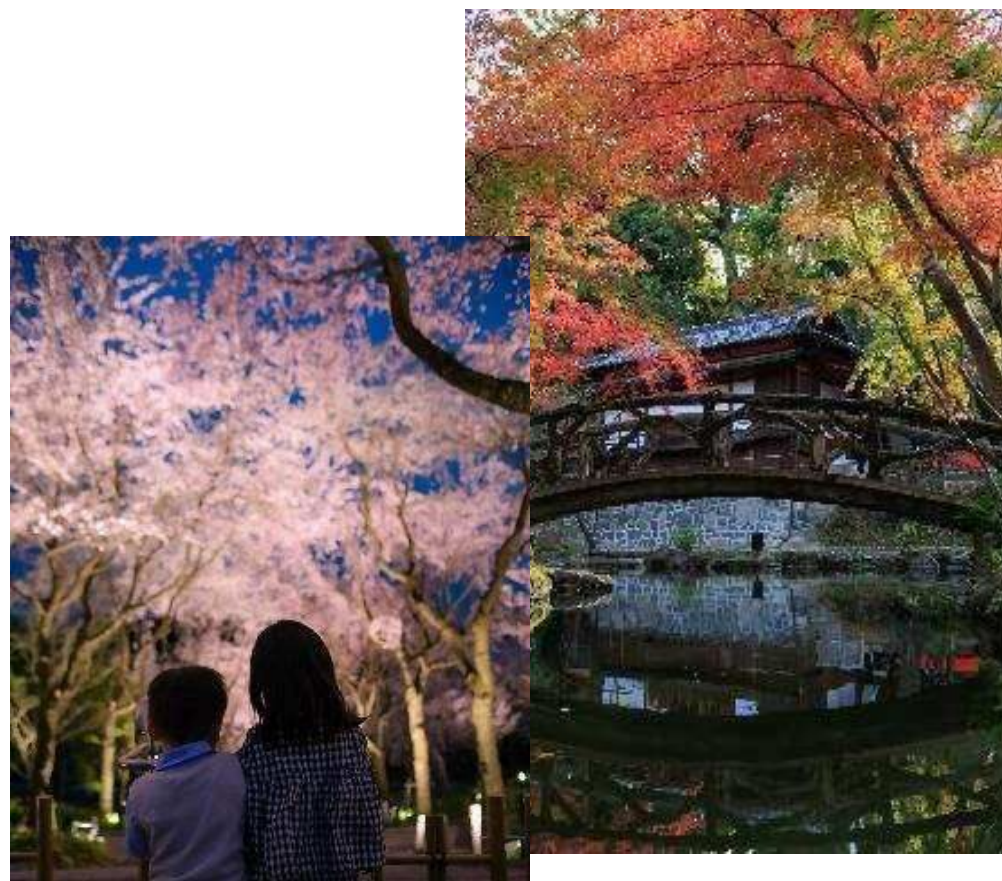


出典：千種区ホームページ千種区フォトコンテスト「好きです、千種区。」開催のお知らせ

+a もっと周知してもらおうためにやりたい事！

- ・Instagramでの開催
(計5回)

- ・若者の参加度向上



出典：千種区みちくさフォトコンテスト 入賞作品

+a もっと周知してもらうためにやりたい事！

< showaku_shochan



昭和区 ショウちゃん

216
投稿

1,141
フォロワー

110
フォロー中

俳優

見てるとだんだんかわいくなってくる不思議な大根 ショウちゃん💕

名古屋市昭和区のマスコットキャラクターだよ💕

体を張った動画にも挑戦中⚠️🔥

〈イベント情報〉や〈おすすめスポット〉など、区の魅力を発信していきます✨

#動ける大根 #地元じゃ有名な大根

🔗 [www.city.nagoya.jp/showa/...](http://www.city.nagoya.jp/showa/)、他2件

< midoriku_midorich



緑区 みどりっち

259
投稿

1,388
フォロワー

58
フォロー中

名古屋市緑区マスコットキャラクター

みどりっちだよ🍀

まちづくり隊長・観光大使として、

大好きな緑区の魅力を発信中！

ステキな写真やゆる〜い動画を

たくさんアップするからお楽しみにね😊

🔗 [www.city.nagoya.jp/midori...](http://www.city.nagoya.jp/midori/)、他1件

出典：名古屋市昭和区 緑区 公式Instagram

+α もっと周知してもらおうためにやりたい事！

- ・千種区公式キャラクター「こあらっち」
- ・千種区公式Instagramを開設し、こあらっちがPR
- ・Instagramで千種区の魅力を発信！



出典：千種区名所案内
Instagram

ご清聴ありがとうございました！



わかものを対象とした食育の啓発

3 班

鈴木美帆 豊國鴻生 山内幹斗 吉川果穂

発表の流れ

①現状課題

②提案

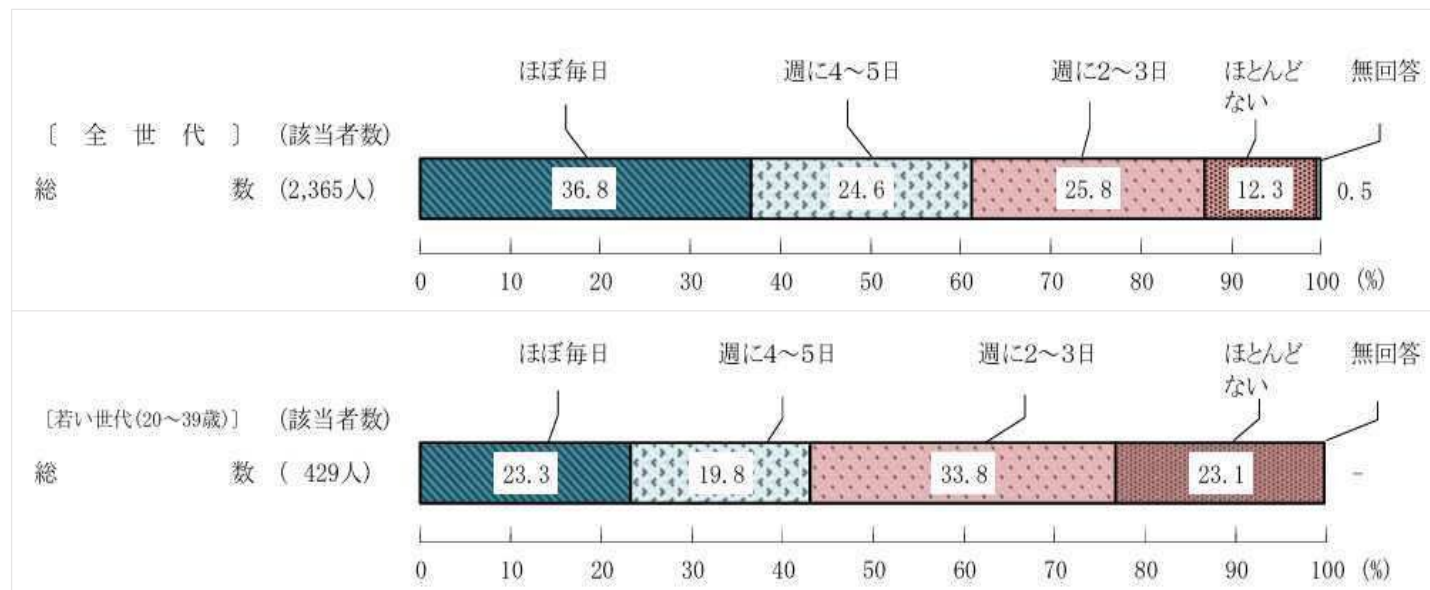
③広告・予算

④まとめ

現状課題 ～食行動～

栄養バランスの良い
食事がとれていない

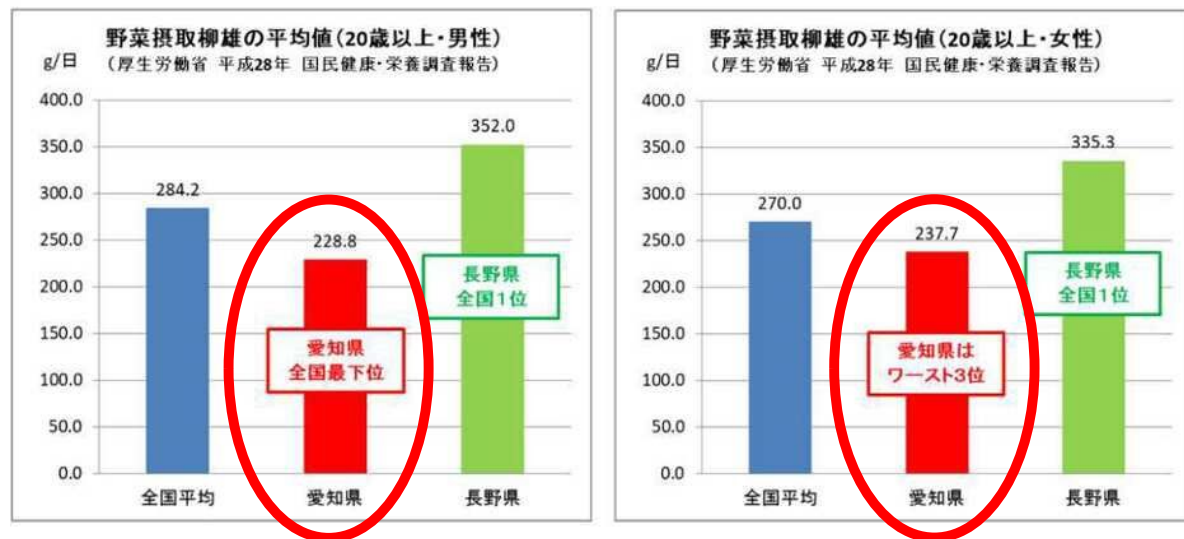
主食・主菜・副菜が揃った食事が1日2回以上できている人の割合



参考文献：https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/r07/pdf/houkoku_3_2.pdf
※図2-2-1の一部を抜粋し、編集を行った

現状課題 ～食行動～

都道府県別の野菜摂取量



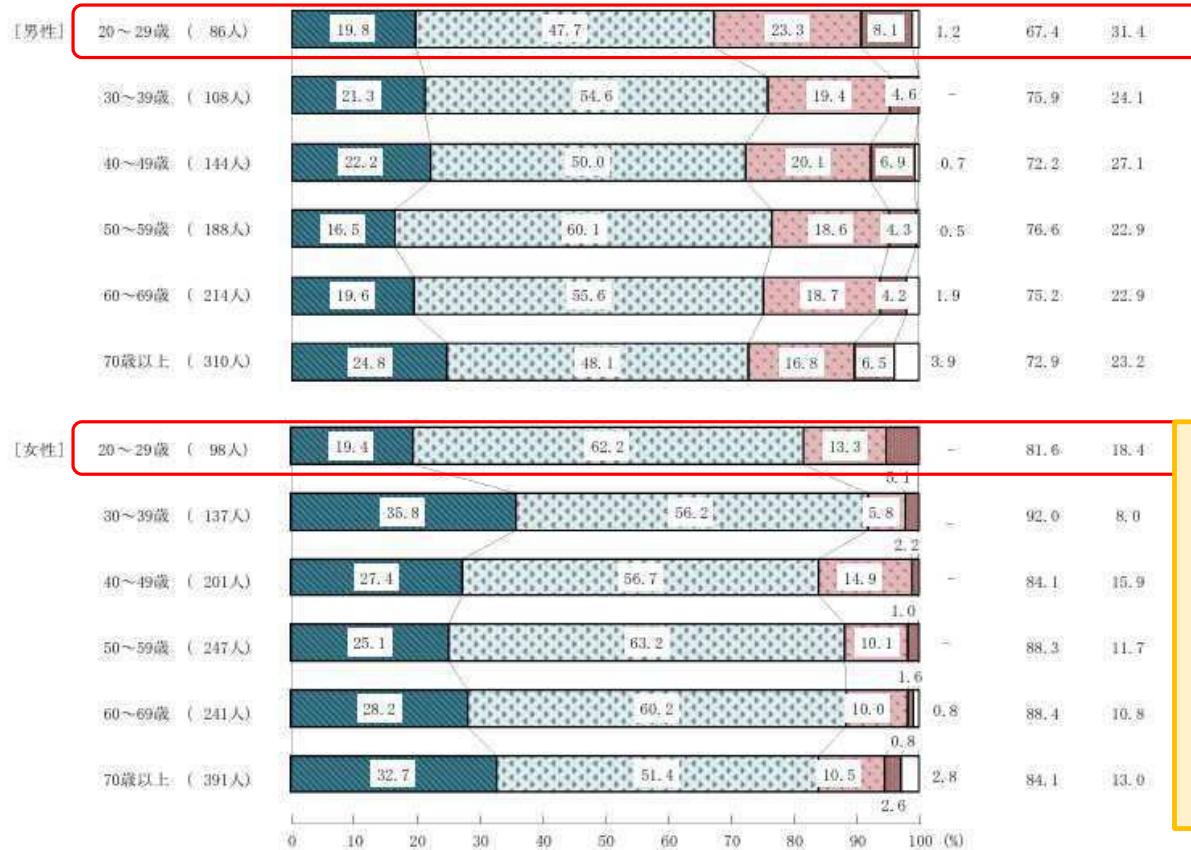
愛知県では
野菜摂取量が少ない

カゴメ株式会社（2018）の
野菜摂取量の調査では・・・



参考文献：<https://tokai-saizensen.jp/archives/174>
<https://www.kagome.co.jp/statement/health/yasaiwotorou/research/research06/>

現状課題 ～食関心度～



⇒食行動の改善のために
食の関心を高める
取り組みが必要

参考文献： https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/r07/pdf/houkoku_3_1.pdf

※図1-3-1の一部分を抜粋した

発表の流れ

①現状課題

②提案

③広告・予算

④まとめ

対象：大学生



目的：健康的な食生活を送ってもらう



目標：栄養・食生活にまつわる正しい知識を得る

SNS (TikTok) を活用

- TikTokアカウントを開設し、ショート動画を通じて食育に関する知識を付ける機会を与える
- 若者は、わざわざ堅苦しい文章や説明を読もうとしない
→ 気軽に見られるショート動画が最適
- 千種区の大学の学生がグループ（インカレサークル等）になって動画を作成する形が理想

フォロワー数を 増やすために…

- 自炊レシピや近場のカフェ等、若者の趣味嗜好に合わせた形からアプローチを試みる
→再生数を稼ぐ
- クーポンなどフォローによる特典を付与することでフォロワー（＝食育に関する動画を観る人）を増やす
- クイズ形式にするなど、一方的な発信ではなく視聴者参加型のアカウントを目指す

可能なば やりたいこと

- 大学構内での規格外野菜の詰め放題やお弁当の販売イベントを実施、イベントを通じてSNSの宣伝も行う
- 大学の雑誌や公共施設の掲示板などでアカウントの宣伝をする
- 著名人やマスコットキャラクターとのコラボ動画

発表の流れ

①現状課題

②提案

③広告・予算

④まとめ

費用 ～動画撮影・編集用～

品 名	予 算
三脚（撮影用）	1,000～3,000円
照明（撮影用）	2,000～5,000円
携帯電話・パソコン （撮影・編集用）	0円
調理室利用費・調理器具代	0円（区役所内調理室使用）
食材料費	500～2,000円（1回あたり）
編集アプリ	0円（無料ソフト使用予定）
計	3,500～10,000円

費用 ～宣伝用～

品 名	予 算
ポスター・チラシ編集用PC	0円（学生私物利用）
ポスター・ チラシ印刷代	1,000円（A3サイズ×10枚） 5,000円（A4サイズ×100枚）
規格外野菜の仕入れ値	1kg100円で仕入れ交渉をする
運送料（車のレンタル費）	12,042円（タイムズ12時間）
テント・机・椅子	0円
金庫（おつり・金銭管理用）	100～500円
その他	5000円程度

発表の流れ

①現状課題

②提案

③広告・予算

④まとめ

まとめ

若者や愛知県民の特徴として

食の関心が低い という現状がある



千種区の特性を活かし、「大学生」を対象とした

SNS戦略により、食に関心をもたせ、正しい知識の啓発をする

参考文献

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/ro7/pdf/houkoku_3_2.pdf

<https://tokai-saizensen.jp/archives/174>

<https://www.kagome.co.jp/statement/health/yasaiwotorou/research/researcho6/>

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/ro7/pdf/houkoku_3_1.pdf

<https://rental.timescar.jp/price/car/bus-van.html>

ご清聴ありがとうございました。



消防団員の確保

- Sustainability of Firefighting Volunteers -

4班

水野麟太郎 中條佑香 山口泰周 常山莉奈 水田しおり



ア ウ ト ラ イ ン

1. 消防団の概要
2. 課題と背景
3. 解決策
4. まとめ

1. 消防団概要

基本消防団

267団
令和7年4月1日時点
4,995名
(女性 514名)

機能別消防団

大学生消防団で構成
112名
(女性 50名)
名古屋市内8大学の学生

消防団員は18歳から75歳まで、非常勤特別職の地方公務員

参照：名古屋市千種消防署作成資料

1. 消防団概要

〈活動内容〉

- ・ 災害対応
- ・ 防火広報
- ・ 防災指導
- ・ 応急手当指導
- ・ 各種訓練

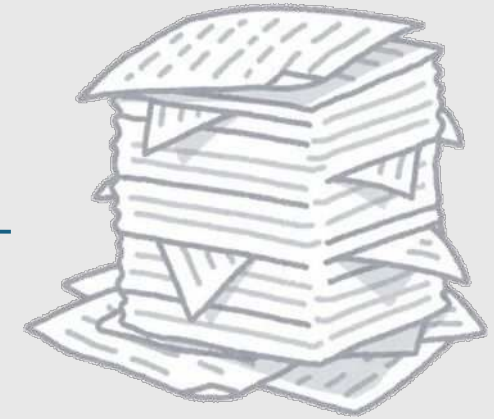


**郷土愛護の精神を持ち、地域密着型の組織
地域防災の要**

※大学生消防団は「災害対応」以外の活動

参照：名古屋市千種消防署作成資料

2. 課題



- **人手不足**：2015年は約5600名所属していたが、10年間で約700名減少し、約4900名に (12.5%の減少)
- **高齢化**：所属している人の約7割が50歳以上
- **認知不足**：消防団の具体的な活動が知られていない

2. 背景

- **人手不足**：10～30代の団員が特に少ない傾向にある
- **高齢化**：名古屋市の消防団員の平均年齢が、令和7年4月1日時点で54.7歳
→今後も定年退職者が一定数見込まれる
- **認知不足**：消防団の活動において消火活動以外の活動に対する認知が高いとはいえない



3. 人手不足・高齢化への解決策

- 高校生消防団を作る
 - 年齢が低い方が消防士へ憧れが強い
 - 例) 部活・ボーイスカウトのように活動
- ゆくゆくは消防団の甲子園
 - 日ごろの成果を発揮
 - 消防団の認知を広げる



3. 人手不足・高齢化への解決策

- 消防団に加入しない理由
 - 他にすることがあるため
 - 事業所の理解が少ない
- 防災休暇を事業所に設けてもらう
 - 20代・30代の会社員に入ってもらおう



3.認知不足への解決策

- **HP**の改善
 - 団員数の多い長野県を参考に作成。
 - 基本情報をより詳しく、具体的に記載
- **団ごと**の専用SNSを作成
 - 団の特色や雰囲気を知ることによって志願がしやすくなる。
- **転入者**向け（千種区転入者数は16区中 3 位という特性を活かす）
 - 役所にて消防団の紹介・勧誘。
 - チラシ(参加特典付き)の配布
 - 消防団員による街紹介ツアー(cf.ハザードマップ)

参照 <https://www.pref.nagano.lg.jp/shobo/kurashi/shobo/shobodan/katsudo/shobodan.html>
<https://www.city.nagoya.jp/shobo/page/0000066246.html> (千種区将来ビジョンP20)

3.認知不足への解決策

- ・ 学校連携
 - 小中高大の授業内容に取り入れてもらう。
 - SNSの運営を学生に依頼する。（若者目線でのPR）
 - 大学のWEB掲示板の活用(大学生消防団分団からの発信)
 - 地元での消防団のお祭りを開催。
 - 幼少期から身近な存在に。
 - 子供を通じて親世代への周知

4.まとめ

高校生・社会人へ
参加の動機付け

HPの改善
・学校連携

消防団員の確保

千種区が防災でもっと暮らしやすさを実感できるまちに